



Title	業績一覧
Citation	西洋史論集, 3, 102-105
Issue Date	2000-03-08
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/37430
Type	bulletin (other)
File Information	3_102-105.pdf



[Instructions for use](#)

業績一覽

『北海道大学人文科学論集』を『人文科学論集』、『北海道大学文学部紀要』を『文学部紀要』と記す。

一 著書・研究論文

- 1 「一三八一年の反乱（ウオット・タイラーの反乱）に関する研究」『北大史学』四、昭和三二年一〇月
- 2 「『フイエフヒラント』考序」『北大史学』八、昭和三六年三月
- 3 「批判と反省」西ヨーロッパ封建制の理解をめぐって―木村尚三郎氏の論稿によせて―『歴史学研究』二五二、昭和三六年四月
- 4 「『フイエフヒラント』考」『史学雑誌』七三の一、昭和三九年一月
- 5 「封建制から官僚制へ―イギリス」『歴史教育』一三の六、昭和四〇年六月
- 6 「一四・一五世紀の西ヨーロッパ諸国―イギリス」『岩波講座世界歴史』一一（中世五）『昭和四五年一〇月
- 7 『西洋史展望』（第三章近代前期、第五章現代第一節・第三節）堀米庸三監修、晶文社、昭和四七年三月
- 8 「『King's clerks』に関する二つの試論」『人文科学論集』九、昭和四七年一二月
- 9 「中世イギリスの中央行政機関における King's clerks」堀米庸三編『西洋中世世界の展開』東京大学出版会、昭和四八年一月
- 10 "Bishops of England and Their Connection with the King, 1272-1485" Part One 『人文科学論集』一一、昭和五〇年一月
- 11 "Bishops of England and Their Connection with the King, 1272-1485" Part Two 『人文科学論集』一二、昭和五一年一月
- 12 「ギィフルカン『領主制と封建制』―比較研究のための覚書き」『人文科学論集』一四、昭和五三年三月
- 13 「中世後期における国家と教会」イギリス史研究会『イギリス史研究』二九、昭和五五年四月
- 14 「イギリスの中央行政機関における長官職―一二七二年から一四八五年まで（上）」『人文科学論集』一八、昭和五七年三月
- 15 「"King's clerks" の下限考―"King's servants" 考（序）」『人文科学論集』二〇、昭和五九年二月
- 16 「中世後期における"King's Servants"」イギリス中世史研究会『イギリス中世社会の研究』山川出版社、昭和六〇年二月
- 17 「中世イギリスの国家と教会」学生社『中世史講座』五、昭和六〇年三月
- 18 「ロンドン聖マルティヌス大教会と国王行政（上）」『文学部紀要』三六の一、昭和六三年一月
- 19 「ロンドン聖マルティヌス大教会と国王行政（中）」『文学部紀要』三六の二、昭和六三年三月
- 20 「ロンドン聖マルティヌス大教会と国王行政（下）」『文学部紀要』三六の二、昭和六三年三月

- 要』三七の一、昭和六三年一月
- 21 「中世イギリスの」王立自由礼拝所——J・H・デントンの所説に関する覚書(上)』『文学部紀要』三七の二、平成一年二月
- 22 「中世イギリスの」王立自由礼拝所——J・H・デントンの所説に関する覚書(下)』『文学部紀要』三八の一、平成一年九月
- 23 「〈再説〉ロンドン聖マルティヌス大聖堂——J・H・デントンの所説に関する覚書』『文学部紀要』三八の二、平成二年一月
- 24 「イングランドの」司教補佐——一三〇〇年から一五四一年まで——(上)』『文学部紀要』三八の三、平成二年二月
- 25 「イングランドの」司教補佐——一三〇〇年から一五四一年まで——(中)』『文学部紀要』三九の一、平成二年一月
- 26 「イングランドの」司教補佐——一三〇〇年から一五四一年まで——(下)』『文学部紀要』三九の二、平成三年二月
- 27 「イングランドにおける司教補佐の代行者委任——一九八八年から一四七一年まで——(上)』『文学部紀要』三九の三、平成三年三月
- 28 「イングランドにおける司教補佐の代行者委任——一九八八年から一四七一年まで——(中)』『文学部紀要』四〇の一、平成三年一月
- 29 「イングランドにおける司教補佐の代行者委任——一九八八年から一四七一年まで——(下)』『文学部紀要』四〇の二、平成四年三月
- 30 「史料所見」*Calendar of Papal Registers* における教皇官僚
- 31 「史料所見」*Calendar of Papal Registers* における教皇官僚の三、平成四年三月
- 32 「史料所見」*Calendar of Papal Registers* における教皇官僚の二、平成四年九月
- 33 「国王統治と官僚聖職者——中世イギリス』『歴史と地理』四四七、平成四年十一月
- 34 「史料所見」*Calendar of Papal Registers* における教皇官僚——一九八八年から一四七一年まで——(下)』『文学部紀要』四一の三、平成五年二月
- 35 「史料所見」聖職者における教皇・国王への同時両属——一九八八年から一三〇四年まで——』『文学部紀要』四二の二、平成六年一月
- 36 「教皇官僚の給養と在イギリス聖職禄」イギリス中世史研究会『中世イングランドの社会と国家』山川出版社、平成六年二月
- 37 「史料所見」国王直属のクレリックスとカペラーヌス——二一六年から一二七二年まで——』『文学部紀要』四二の三、平成六年三月
- 38 「史料所見」修道会聖職者の在俗聖職禄占有——二一六年から一二七二年まで——』『文学部紀要』四三の一、平成六年一〇月

- 39 「中世後期イギリスの聖職禄に関する覚え書き―術語の分類・整理」『文学部紀要』四三の三、平成七年三月
- 40 「中世後期イギリスの聖職禄に関する覚え書き―術語の分類・整理（追補）」『文学部紀要』四四の一、平成七年八月
- 41 「史料所見」中世後期イギリスにおけるクレリックス・レーギスの給養」北海学園大学『人文論集』九号、平成九年一〇月
- 42 「一五世紀イングランドにおける司教管区の行政―R・L・スーリーの所説の紹介と解説―（上）」北海学園大学『人文論集』一〇号、平成一〇年三月
- 43 「一五世紀イングランドにおける司教管区の行政―R・L・スーリーの所説の紹介と解説―（下）」北海学園大学『人文論集』一一号、平成一〇年一〇月
- 二 書評・翻訳・学会発表等
- 1 〈紹介と批判〉
堀米庸三『西洋中世世界の崩壊』『北大史学』五、昭和三四年五月
- 2 〈学会発表〉
「フイエフ・ラント考」史学会大会 西洋史部会（東京大学）、昭和三五年一月
- 3 〈新刊紹介〉
F・L・ガンスホーフ（森岡敬一郎）『封建制度』『史学雑誌』七七の二、昭和四三年一二月
- 4 〈書評〉
イギリス中世史研究会編『イギリス封建社会の研究』『史林』五三の四、昭和四五年七月
- 5 〈学会発表〉
「中世イギリスの中央行政機関における King's clerks」社会経済史学会大会 西洋史部会（横浜市立大学）、昭和四八年五月
- 6 〈書評〉
ジョセフ・ストレイヤー（鷺見誠一）『近代国家の起源』『北大史学』一五、昭和五〇年七月
- 7 〈書評〉
田中正義『イングランド初期経済史の諸問題』『史学雑誌』八八の六、昭和五四年六月
- 8 〈書評〉
城戸 毅『マグナ・カルタの世紀―中世イギリスの政治と国制一九九―一三〇七年』『法制史研究』三二、昭和五七年三月
- 9 〈書評〉
F・W・メイトランド（小山貞夫）『イングランド憲法史』『法制史研究』三二、昭和五八年三月
- 10 〈再版校訂〉
ゲオルク・フォン・ベロウ（堀米庸三）『ドイツ中世農業史』創文社、昭和六〇年二月
Georg von BELOW, Geschichte der deutschen Landwirtschaft,

- aus dem hinterlassenen Manuskript, hreg. von Friedrich Lütge, 1937.
- 11 〈書評〉
鶴島博和「一・二世紀イングランドに於ける『Teudm』概念について—ケント Cantentury 大司教領を主たる素材として」
他二点『法制史研究』三四、昭和六〇年三月
- 12 〈回顧と展望〉
「一九八四年の歴史学界—中世イギリス」『史学雑誌』九四の五、昭和六〇年五月
- 13 〈書評〉
S・B・クライムズ（小山貞夫）『中世イングランド行政史概説』『法制史研究』三六、昭和六二年三月
〈試訳と解説〉
「一二世紀中葉におけるロンドン聖マルティヌス大教会—R・H・C・デイヴィス論文の試訳と解説—」『東海大学札幌教養部彙報』七、昭和六二年六月
R. H. C. Davis, "The College of St Martin-le-Grand and the Archy, 1135-54", *London Topographical Record*, vol. 23, 1974.
- 14
- 15 〈書評〉
赤澤計眞『イギリス中世国家史研究』『史学雑誌』九七の九、昭和六三年九月
- 16 〈学会発表〉
「中世後期イギリスにおける聖職禄—修道会聖職者の在俗聖職禄占有ほか—」法制史学会第四三回研究大会（立命館大学）平成七年一〇月